

平成 23 年度事業報告

「和歌山市まちづくり戦略研究会」中間報告

研究会主査 木 下 雅 夫
【(財)和歌山社会経済研究所 常務理事】

1. 研究の背景及び目的

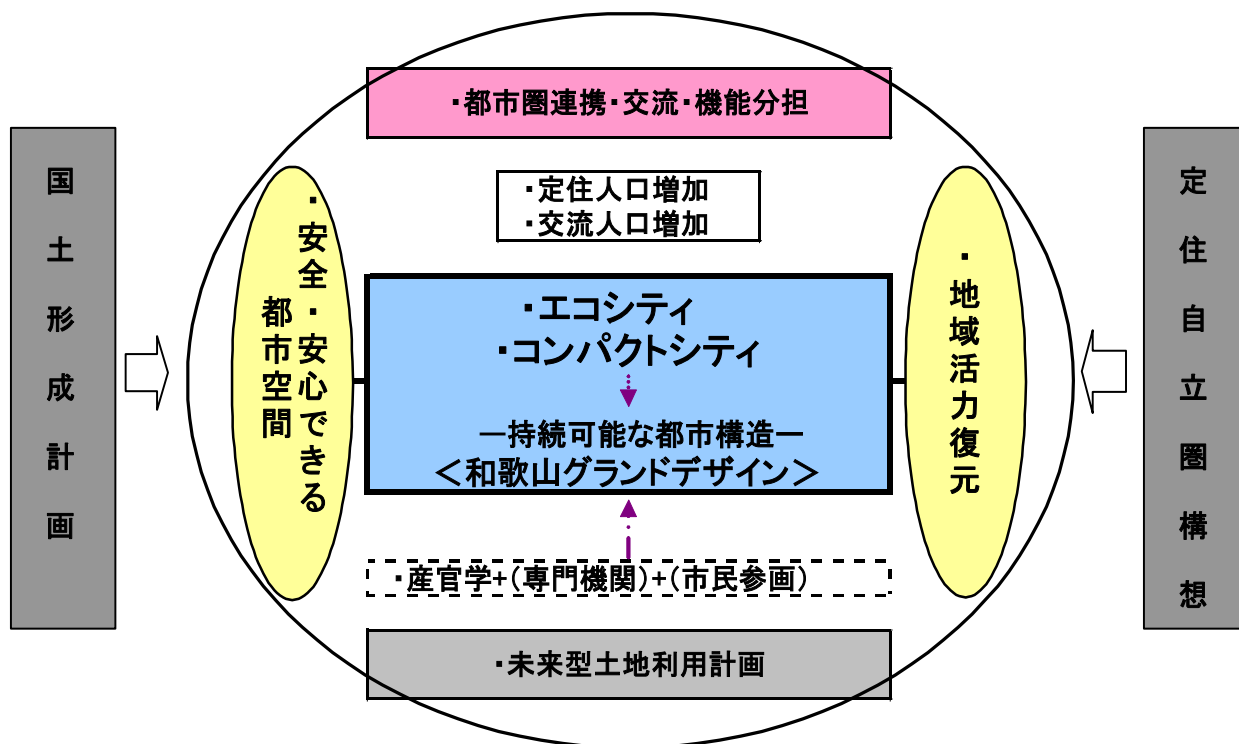
和歌山県では近いうちに発生するであろう「東南海・南海大地震」による災害が予想される中、被害を最小限にとどめ「安全で安心できる生活空間」の確保・構築が改めて議論されている。さらに、将来に向けてのまちづくりの重要な要素でもある、社会インフラの整備や財政負担、産業構造や人口構造のトレンド、ライフスタイルの変化などもカバーしたグランドデザイン的な都市計画づくりが必要とされている。マクロ的にとらえれば、社会構造の枠組みの大きな変化にどう対応していくかということといえよう。さらに、ミクロ的には各地域の立地特性に応じたさまざまな固有の課題への対応が要求されている。これらを背景として平成 23 年度から、和歌山市を中心とした和歌山市圏域における将来の望むべき姿～「持続可能な都市像」＝グランドデザイン～づくりを目的として「和歌山市まちづくり戦略研究会」をスタートさせている。地域特性を活かしながらか多くのひとが交流し「住んでよかった。来てよかった」といわれるまちづくりのビジョンを構築することが目標である。そのアプローチとして、さまざまな条件と課題を整理し、われわれが目指すべき方向性と和歌山市圏域のあるべきグランドデザインを関係各者の知見とアイディアにより描く。

2. 研究の概要

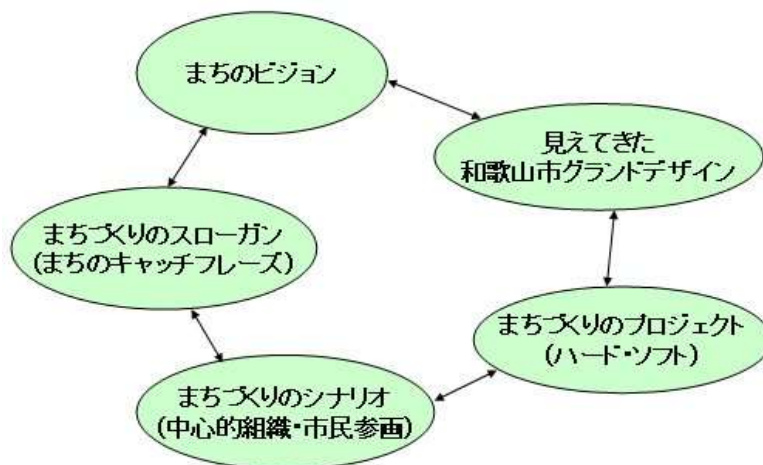
研究は平成 23 年度、24 年度の 2 カ年の計画で取組む。和歌山市圏域の現状と課題を十分整理しながら目指すべき将来像をさまざまな要素で統合し、最も和歌山らしい「まちのありよう」を構築する。目指すべきビジョンとイメージの一例を次に示す。

- <ビジョン>
- ・定住・交流人口の増加
 - ・地域活力復元（産業・コミュニティ・人材・文化等）
 - ・安全・安心できる生活空間（防災・医療・福祉・教育等）
 - ・エコシティ（環境保護・交通体系）
 - ・コンパクトシティ（都市機能効率化・拡散防止等）
 - ・未来型土地利用計画（ゾーニング・モザイク）

<イメージ>



<プロセス>



3. 研究会メンバー

平成 23 年度研究会のメンバーは以下のとおり。

主査	木下 雅夫	(財)和歌山社会経済研究所	常務理事
	中山 健太	(財)和歌山社会経済研究所	研究部長
	中平 匡俊	(財)和歌山社会経済研究所	主任研究員
	松村 光一郎	(財)和歌山社会経済研究所	主任研究員
	大泉 英次	和歌山大学経済学部	教授
	足立 基浩	和歌山大学経済学部	教授
	鈴木 裕範	和歌山大学経済学部	准教授
	大井 達雄	和歌山大学観光学部	准教授
	山本 敦子	和歌山大学経済学部	助教
	中谷 正隆	和歌山商工会議所	主任
	中谷 恵理子	和歌山商工会議所	主事

(注：メンバーの所属・肩書については平成 23 年度時点)

なお、随時各界の有識者、専門家、学生のオブザーバーが参加している。

4. 開催実績

- # 1 H23/04/22 ・プレビュー
- # 2 H23/06/08 ・研究会の目的及び概要、スケジュール
＜豊田氏和歌山市企画部長／学生 3 名＞
- # 3 H23/07/07 ・「和歌山市における主要施設や交通不便地域の分布」
・「和歌山市の財政状況」・「和歌山商工会議所会員数の動向」
＜和歌山市議 2 名／糀谷氏 NPO 法人市民の力／学生 3 名＞
- # 4 H23/09/16 ・「少子化・高齢化社会における地方自治のあり方」
＜永尾氏（和歌山県）／川口氏（わかやま新報）／学生 2 名＞
- # 5 H23/11/09 ・「和歌山市都市計画マスタープラン」（和歌山市都市計画課 3 名）
＜永尾氏／糀谷氏／川口氏／志場氏（わかやま NPO センター）／
学生 4 名＞
- # 6 H23/12/14 ・「縮小都市時代のまちづくり」
＜永尾氏／糀谷氏／志場氏／学生 4 名＞
- # 7 H24/02/01 ・「定住自立圏構想」
＜豊田氏／永尾氏／糀谷氏／志場氏／学生 1 名＞
- # 8 H24/03/07 ・「和歌山市の都市形成の歴史を考える」
＜糀谷氏／学生 2 名＞

< > はオブザーバー参加者